

## 令和8年度 東京都議会予算要望ヒアリング参加報告（概要）

- 1 日 時：令和7年9月3日（水） 13：00～14：35
- 2 会 場：都議会議事堂 第2会議室（自民）、談話室（公明）、4階第12委員会室（立憲）
- 3 訪問先：都議会自由民主党、都議会公明党、都議会立憲ミライネット・無所属の会
- 4 参加者：梶山理事長、榎本、坂野副理事長、横田幹事長、西海事務局長、川上、森職員

3会派において、要望書の手交、各会派の都議代表あいさつ、梶山理事長挨拶、横田幹事長による要望書の概要説明、意見交換を実施した。

### 都議会自由民主党＜2階第2会議室＞ 13時00分～13時20分

対応者：宇田川、山崎、伊藤、田村議員他 14名

司 会：事務局 挨拶：増山あすか政調会長代行

質疑応答：

（伊藤議員） 障害者雇用の中で、常用雇用につながる環境作りに努力しており、少しずつではあるが改善しているが、まだ少ない印象か。現場はどのような状況か。暑さ対策は都でも行っており、積算などにも反映させると聞いているが、実際に反映されているのか。

（横田幹事長） 障害者雇用では本庁舎の議会棟にて日常清掃の案件を出していただき感謝している。今後も協会が特別支援学校などで指導を行っているような常用雇用につながる日常清掃での案件拡大をお願いしたい。

熱中症対策については、工事では現場管理費に計上できるが、清掃では該当項目がない。別途東京都財務局と意見交換を行い、一般管理費で計上するように原局には周知しているとのことであったので、原局には目に見える形での計上やBM事業者から相談があった際には対応いただくよう、先生の皆様からも依頼をお願いしたい。

（ゆもと議員） 熱中症対策として、日中の作業ではなく、夜間など時間をずらした作業もありえるのではと聞いている。実際にそのようなことは可能なのか伺いたい。

（横田幹事長） 夜間作業については、現場によっては夜間省エネ等で冷房が効いていない現場がある。また、古い現場・建物では職員の方の執務室には冷房が効いているが、共用部、トイレ、階段などは空調が効いていない。高齢者を多く抱える当業界においては、危険性も大きく、対策費の計上はぜひご理解いただきたい。

（宇田川議員） 日を改めて、ビルメン業振興政策研究会と東京都、貴団体の3者で要望や課題について情報交換の機会を作りたい。



**都議会公明党＜2階談話室＞ 13時30分～13時55分**

対応者：議員5名（加藤、大竹、北口、いいだ、古城 各議員）

司会：大竹議員 挨拶：加藤議員

質疑応答：

（横田幹事長）昨今の最低賃金や人件費はすごい勢いで上昇しており、現在の上昇率は入札時の見込みを大きく上回るものである。工事にはスライド条項の文言があるが、未だに委託役務では認めていただいていない。都ではないが公契約条例を導入している区では条例に基づいて複数年契約の人件費高騰分の金額の変更が反映される区もあり、区平均で労働補償制限額が1400円以上となっている。導入に向けてご支援を賜りたい。

古い現場・建物では職員の方の執務室には冷房が効いているが、共用部、廊下、トイレ、階段などは効いていない。高齢者を多く抱える当業界においては、危険性も大きく、対策費の計上はぜひご理解いただきたい。

（加藤議員）人件費上昇はどの業界も同じであり、スライド条項は建築土木だけではなく、委託でも導入していく必要がある。

（横田幹事長）障害者雇用において、当協会が特別支援学校で教えているのは日常清掃が中心であり、発注されるのは定期清掃や特別清掃である。窓ガラス清掃、また定期清掃では就労条件や環境が非常に厳しい。労災リスクも高くなるので危険であり、日常清掃が可能な現場を多く提供していただきたい。

（加藤議員）障害者雇用率の加点上限が5点だと差別化ができないということか。

（横田幹事長）障害者の方は離職率も高く、当業界は障害者雇用では知的と精神障害が多い。特に知的障害の方は一人作業が難しいので補佐する人材が必須となり、その分の人件費もかかる。育成にも費用がかかるため、頑張って雇用している企業に5点は低いと考えている。



**都議会立憲ミライネット・無所属の会 < 4階第12委員会室 > 14時15分～15時35分**

対応者：議員 20名

司会：三雲崇正議員 挨拶：竹井ようこ幹事長

質疑応答：

(西沢議員) 障害者雇用については例年要望を伺っているが、業界で雇用の促進は進展しているのか。

(横田幹事長) 昨年、都庁舎の議会棟を対象案件としていただいたが、これまで高校の定期清掃などが中心であり、議会棟のような日常清掃の案件を増やしてほしい。

(西沢議員) 障害者団体からも、清掃の仕事は目に見えるため「誇りになる仕事」という話があった。都は積極的ではないが、進展できるよう努めたい。

(中村議員) 悪質な業者は今もいるのか。

(横田幹事長) 入札参加資格の段階で、近年、社会保険の確認について導入いただいた。昨年は契約不履行2社が出て、大変申し訳ないところであるが、そのような会社は社会保険料や税金を払っていないし、従業員の賃金も払っていないような企業である。やはり、入札履行能力があるかを確認いただくこと、難しい場合は落札業者だけでも確認をいただくことがより良い入札制度となると考えている。

(西崎議員) 熱中症の義務化など、今は都では考慮されていないのか。

(横田幹事長) 当業界の従業員の6割以上が高齢者である。現在、都では委託案件について目に見えた熱中症対策の費用計上がされていない。先の東京都財務局との意見交換でも、工事では現場管理費として計上されており、委託では一般管理費の中で見てほしいとのことであったが、原局への周知徹底を実施していただき、しっかりとした予算計上をお願いしたい。

職員の方の執務室には冷房が効いているが、共用部、廊下、トイレ、階段などは効いていない現場もあり、都においても様々な状況に応じた備品等の費用計上にご理解をいただきたい。

